

関西聚 活動報告書

活動名:自然学習ゾーン整備

活動日:2019.8.31(土)9:30~12:00

リーダー名: 伊東 俊廣

報告者: 伊東 俊廣

参加者:(一般参加者 4人 美交工業 1人 スタッフ 6人 合計 11人)

スタッフ:大川 英登、上田 泰史、東川 徳、林 俊、小久保 広宣、伊東 俊廣

参加者 :1家族 3名(うち子供 1人)、女性 1名

活動内容 :

1. 調査活動

・昆虫調査 大川、小久保、一般参加者

32種確認

クロマダラソテツシジミという珍しい蝶々が見られた。

・草本調査 上田、伊東

31種確認

2. カブトムシの寢床用枠材の準備 東川、林

・久宝寺より2mの枕木材 32本の提供を受けたので、カブトムシの寢床No.1とNo.2の外枠を更新の予定

・今日は材料にドリルで穴をあけ、ボルトを通して組み立ての確認を行った。

活動報告・感想など

この週は前線が停滞して雨の日が多く、今日も作業が危ぶまれたが、昼前に雨がすこし降ってきた以外は作業に問題なし。

8月は自然学習ゾーン活動だけなので、スタッフだけで作業の予定だったが、出発前に元気な男の子の声がしてびっくり。よく来てくれる昆虫少年とご両親が昆虫調査に参加してくれた。昆虫調査にはもう1名女性も参加、子供さんが昆虫好きで9月の昆虫観察会も参加したい意向だった。今回見られた、クロマダラソテツシジミは、名前の通り幼虫がソテツの新芽を食べるので、きれいなチョウではあるが歓迎されない部分もあるようだ。

昆虫保護ゾーンには、アキノエノコログサが大繁殖、セイタカアワダチソウはかなり少なくなった。来月(9月)は、調査活動とカブトムシの寢床の枠を更新し、整備を行う予定。